

かほく市史編さんだより



第8号 令和7年（2025年）2月15日



▲油野市長への刊行報告（令和6年12月26日）

「図説 かほく市の歴史と文化」刊行 原始から現代までまるごと解説

令和4年に新たにスタートした全10巻の刊行にわたる市史編さん事業は、多くの皆様からの聞き取りや史料提供のご協力を得て、このたび第1巻目となる『図説 かほく市の歴史と文化』が完成しました。

市民の皆様にとって、市史編さんへのご理解と興味をお持ちいただくために、原始から現代までの特徴的な市域の事柄97項目を取り上げ、写真やグラフ等を多く使い、見やすくわかりやすく表すことを主眼に置いて作成した冊子となっています。

この冊子が、かほく市の歴史を知る入口として皆様に親しまれ、さらにかほく市を発信していくことに繋がっていくことを期待しています。項目の詳細は、編さんだよりの4ページ目をご覧ください。



▲「かほく市誕生」を取り上げた項目
合併の経緯や新たなスタートへの当時の機運などを詳説

かほく市史編集専門委員会 現代部会長 ごあいさつ

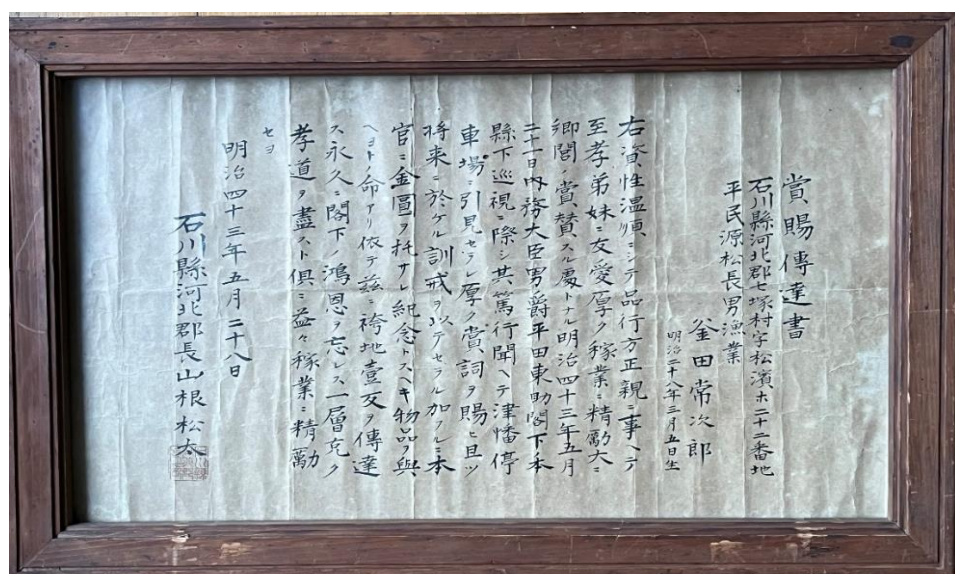
「加賀・能登の結節点 人、モノ、文化が交流するマチ」

平野 優

かほく市は古来より、加賀地方と能登地方の人、モノ、文化が交流する結節点として発展してきました。現代においても「のと里山海道」が両地方をしっかりと結んでおり、平成 25 年には無料化に伴い道の駅高松には「里山館」・「里海館」がオープンし、地域の特産品を販売すると同時に、日本海の夕日を一望できるビュースポットとなっています。

現代部会としましても、地域ブランド農産品や先端技術製品、アメニティ、医療福祉施設、哲学館をはじめとする文教施設等、引き続きその多様な魅力を深掘りしていきます。

『これまでの調査から』 一賞賜伝達書（しょうしでんたつしょ）一



▲内務大臣が石川県を巡視した際に津幡駅で賞賜を伝えたこと、授与の理由と品物、それを河北郡長から伝達されたことが分かる

松浜区の釜田家に『賞賜伝達書』が残されています。「賞賜」とは、政府等から善行や顕著な功績に対して与えられる褒賞のことで、それが与えられたことを河北郡長から釜田常次郎氏に伝達されたものがこの『賞賜伝達書』です。

その文面や釜田家の方の話によれば、常次郎氏は、明治 28 年に漁業を生業とする家の長男として生まれ、品行方正で稼業によく精を出し、早くに亡くなった母の死後も弟や妹の面倒をよく見る孝行息子だったようです。

そうした常次郎の日頃の行いが認められ、明治 43 年の 15 歳の時、河北郡内（当時は現金沢市の一部も含む）でただ一人、「賞賜」として袴用の反物が贈られたとのことであり、その伝達書と反物から作った袴が、今も大切に保管されています。



▲賞賜として授与された反物から作った袴

このような、明治から昭和時代の様子が分かる資料も探しています。
もし自宅等にありましたら編さん室まで情報提供をお願いします。

コラム かほく市の歴史お宝

「木津桃」

『図説 かほく市の歴史と文化』に、「名物木津桃の生産」という項目があります。

木津桃とは、直径4cmほどの「油桃」のことで、文政年間(1818～1830)から盛んに栽培されるようになりました。果肉は固く味は乏しいものでしたが、種は薬用として高く買われ、村人たちの暮らしを支えていたようです。

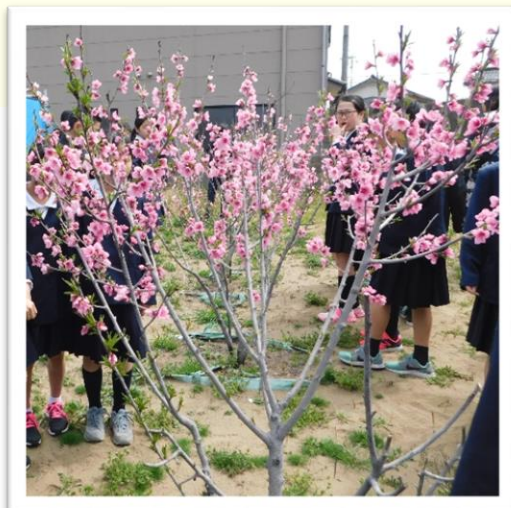
木津桃は藩主にも献上されており、花が一面に咲き誇った春先には、各地から花見に訪れ、藩主の前田齊泰(なりやす)も見物したとの記録が残っています。

幕末期には室屋久兵衛が全国から桃苗を求めて良品種の栽培を試みたところ、明治初年には金沢で評判となり、木津以外でも広く栽培されるようになりました。

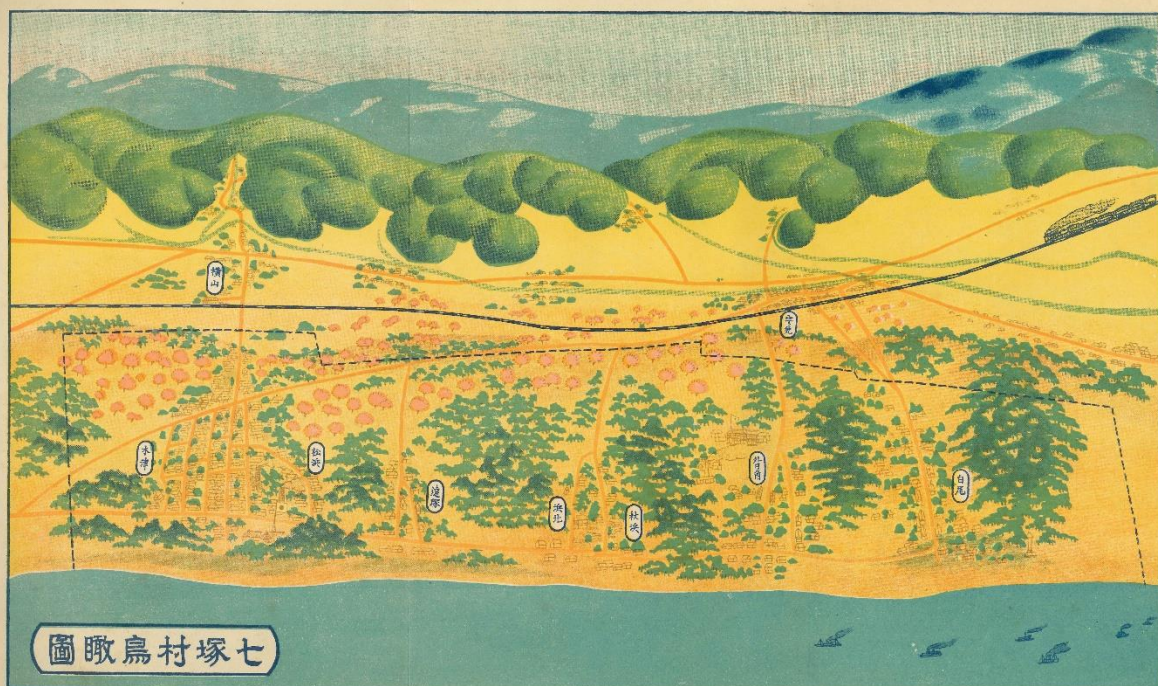
明治以降、防風林の伐採で浜風に傷められたことなどから一時衰退しましたが、明治末期には植林によって復活し、大正時代末期には金沢、小松、敦賀まで出荷されました。木津の桃売りたちの声は、金沢に真夏の訪れを告げる季節の風物詩だったそうです。

多い時には4万本も栽培されていましたが、昭和15、16年には食糧増産政策によるサツマイモ栽培奨励、桃樹の老齢化、防風林の荒廃などにより再び衰退しました。

しかし、近年、木津桃復活の取り組みが行われています。七塚小学校でも駐車場の脇に植樹されており、3月末ごろに花見会、収穫した実でジャムづくりなどが行われています。



▲花見を楽しむ七塚小学校の子どもたち



▲七塚村鳥瞰図（『郷土に立脚せる学校学級の経営』付録：昭和13年七塚尋常高等小学校発行）
七塚全域だけでなく、横山や宇ノ気など広い範囲に桃の木が栽培されていたことが分かる

目次 かほく市の歩みを97項目にまとめ、見開き2ページの読切で解説

1	【原始古代・中世】	1	かほく市環境
2	旧石器時代から縄文時代へ	14	二ツ屋調
3	上山田貝塚から気屋遺跡へ	15	村鑑帳が語る村の様子
4	弥生の墓と丘陵のムラ	16	北村の人々の暮らしと生活
5	古墳の築造と埴輪祭祀	17	砂丘に生きる村
6	指江の「大宮」と水辺のマツリ	18	村々の諸商売
7	古代の開発と土器づくり	19	高松瓦と木津窯
8	英太郷と加賀立国	20	外海の漁師と盛衰する鱈漁
9	古代の官道と横山駅	21	名物木津桃の生産
10	源平合戦と河北路	22	高松宿と能登街道
11	大泉荘の伝説と大泉南荘	23	紀行文に見る情景
12	金津荘と北英田保の境界争い	24	真宗寺院の成立
13	加賀守護宮内卿氏と北英田	25	市域の産土と社堂
14	祇園社領菅野保の代官	26	奉納絵馬が伝える異空間の物語
15	上賀茂社領金津荘の成立	27	かほくの俳人たち
16	金津荘の百姓と年貢取納	28	絵図で見る近世のかほく
17	金津荘の人々と産物・風景	【近代】	
18	経塚から村堂の造営	1	明治維新とかほく市域
19	河北郡・倭と五番組	2	小学校の発足
20	上杉謙信の能登侵攻と高松在陣	3	近代社会と真宗
21	一向一揆の解体と木越三光	4	維新期の陸運再編と河北潟水運
【近世】		5	町村制の施行
1	末守の合戦と桜井三郎左衛門	6	政党政治家浅野順平
2	不破家と本多家の知行地	7	寺水法専と大谷派僧の北海道移住
3	改作法と村御印	8	羽二重機業の勃興とかほくの産業革命
4	海商唐仁屋三郎兵衛	9	七尾線開業と鉄道が果たした役割
5	村方二日説に見る百姓統制	10	高松瓦の盛衰
6	伊能忠敬の沿岸測量	11	山林の整理統と学校林・砂防林
7	藩主齊泰の巡見と海防	12	戦前期の漁業
8	かほくの土村と村役人	13	高松ブドウ
9	新開と長柄用水	14	大海地区の紋平柿
10	不湖の姿と変遷	15	西田幾多郎
11	気屋村の持高構成	16	大正自由教育
12	河北潟の潟鰐と舟運	17	「新化の窓から」と桜井祐男――日本のリンダバグ東善作
13		18	七塚村騒擾事件
14		19	高橋ふみ
15		20	高松と七塚の町制移行
16		21	反戦川柳作家鶴彬
17		22	戦時体制と軍需産業
18		【現代】	
19		1	昭和の大合併と高松町・宇ノ気町の誕生
20		2	平成の大合併と「かほく市」の誕生
21		3	国営河北潟干拓事業の軌跡
22		4	石川県砂丘地農業試験場の開設と砂丘地農業
23		5	高松ぶどうからルビーロマンへ
24		6	かほく繊維産業の挑戦
25		7	かほく市のIT産業の栄光
26		8	イオンモールかほくの出現
27		9	能登と加賀をつなぐのと里山海道
28		10	七塚中央公園の完成と地域アメニティ
29		11	高齢化社会と特別養護老人ホーム
30		12	「あかしあ荘」
31		13	石川県立高松病院の開設とメンタルヘルス
32		14	石川県立河北台商業高等学校の軌跡
33		15	石川県立看護大学の開学
34		16	石川県西田幾多郎記念哲学館の設立
35		17	生涯スポーツの振興と地域活性化
36		18	かほく市の国際交流
37		19	大災害「能登半島地震」
38		20	
39		21	
40		22	
41		23	
42		24	
43		25	
44		26	
45		27	
46		28	
47		29	
48		30	
49		31	
50		32	
51		33	
52		34	
53		35	
54		36	
55		37	
56		38	
57		39	
58		40	
59		41	
60		42	
61		43	
62		44	
63		45	
64		46	
65		47	
66		48	
67		49	
68		50	
69		51	
70		52	
71		53	
72		54	
73		55	
74		56	
75		57	
76		58	
77		59	
78		60	
79		61	
80		62	
81		63	
82		64	
83		65	
84		66	
85		67	
86		68	
87		69	
88		70	
89		71	
90		72	
91		73	
92		74	
93		75	
94		76	
95		77	
96		78	
97		79	
98		80	
99		81	
100		82	
101		83	
102		84	
103		85	
104		86	
105		87	
106		88	
107		89	
108		90	
109		91	
110		92	
111		93	
112		94	
113		95	
114		96	
115		97	
116		98	
117		99	
118		100	
119		101	
120		102	
121		103	
122		104	
123		105	
124		106	
125		107	
126		108	
127		109	
128		110	
129		111	
130		112	
131		113	
132		114	
133		115	
134		116	
135		117	
136		118	
137		119	
138		120	
139		121	
140		122	
141		123	
142		124	
143		125	
144		126	
145		127	
146		128	
147		129	
148		130	
149		131	
150		132	
151		133	
152		134	
153		135	
154		136	
155		137	
156		138	
157		139	
158		140	
159		141	
160		142	
161		143	
162		144	
163		145	
164		146	
165		147	
166		148	
167		149	
168		150	
169		151	
170		152	
171		153	
172		154	
173		155	
174		156	
175		157	
176		158	
177		159	
178		160	
179		161	
180		162	
181		163	
182		164	
183		165	
184		166	
185		167	
186		168	
187		169	
188		170	
189		171	
190		172	
191		173	
192		174	
193		175	
194		176	
195		177	
196		178	
197		179	
198		180	
199		181	
200		182	
201		183	
202		184	
203		185	
204		186	
205		187	
206		188	
207		189	
208		190	
209		191	
210		192	
211		193	
212		194	
213		195	
214		196	
215		197	
216		198	
217		199	
218		200	
219		201	
220		202	
221		203	
222		204	
223		205	
224		206	
225		207	
226		208	
227		209	
228		210	
229		211	
230		212	
231		213	
232		214	
233		215	
234		216	
235		217	
236		218	
237		219	
238		220	
239		221	
240		222	
241		223	
242		224	
243		225	
244		226	
245		227	
246		228	
247		229	
248		230	
249		231	
250		232	
251		233	
252		234	
253		235	
254		236	
255		237	
256		238	
257		239	
258		240	
259		241	
260		242	
261		243	
262		244	
263		245	
264		246	
265		247	
266		248	
267		249	
268		250	
269		251	
270		252	
271		253	
272		254	
273		255	
274		256	
275		257	
276		258	
277		259	
278		260	
279		261	
280		262	
281		263	
282		264	
283		265	
284		266	
285		267	
286		268	
287		269	
288		270	
289		271	
290		272	
291		273	
292		274	
293		275	
294		276	
295		277	
296		278	
297		279	
298		280	
299		281	
300		282	
301		283	
302		284	
303		285	
304		286	
305		287	
306		288	
307		289	
308		290	
309		291	
310		292	
311		293	
312		294	
313		295	
314		296	
315		297	
316		298	
317		299	
318		300	
319		301	
320		302	
321		303	
322		304	
323		305	
324		306	
325		307	
326		308	
327		309	
328		310	
329		311	
330		312	
331		313	
332		314	
333		315	
334		316	
335		317	
336		318	
337		319	
338		320	
339		321	
340		322	
341		323	
342		324	
343		325	
344		326	
345		327	
346		328	
347		329	
348		330	
349		331	
350		332	
351		333	
352		334	
353		335	
354		336	
355		337	
356		338	
357		339	
358		340	
359		341	
360		342	
361		343	
362		344	
363		345	
364		346	
365		347	
366		348	
367		349	
368		350	
369		351	
370		352	
371		353	
372		354	
373		355	
374		356	
375		357	
376		358	
377		359	
378		360	
379		361	
380		362	
381		363	
382		364	
383		365	
384		366	
385		367	
386		368	
387		369	
388		370	
389		371	
390		372	
391		373	
392		374	
393		375	
394		376	
395		377	
396		378	
397		379	
398		380	
399		381	
400		382	



編さん室の歩み(活動記録) 令和6年10月～7年1月

10～12月	寺院什物・古文書調査4回 10/3, 10/30, 11/19, 12/20	10月8日	第3回現代部会
10、12月	古民家調査2回 10/25, 12/2	10月17日	第3回古代・中世部会
10～1月	(民俗)聞き取り調査4回 10/22, 10/23, 12/16, 1/27	11月1日	編さんだより第7号発行
12月	(近代)聞き取り調査2回 12/13, 12/27	11月2日	第2回編集専門委員会
		11月14日	編さん委員会
		12月26日	「図説編」刊行 市長報告

お問合せ・資料の提供はこちらまで

〒929-1215
かほく市高松ク4 2番地1
かほく市高松産業文化センター 3階
TEL: (076) 281-3455
FAX: (076) 281-3521
E-mail: shishi@city.kahoku.lg.jp →

かほく市史編さん室

かほく市史をお求めの方は
こちらから ⇒
※遠方の方へは現金書留
(送料実費) にて承ります。

